



令和6年度第1回 豊かさ共創フォーラム

令和6年7月24日(水)
13:00-15:00

山梨県

本日の会議のタイムテーブル

13:00	開会挨拶
13:05	事務局説明
13:40	ディスカッション（70分）
14:50	まとめ・次回スケジュール
15:00	終了

本日ご議論いただきたいこと

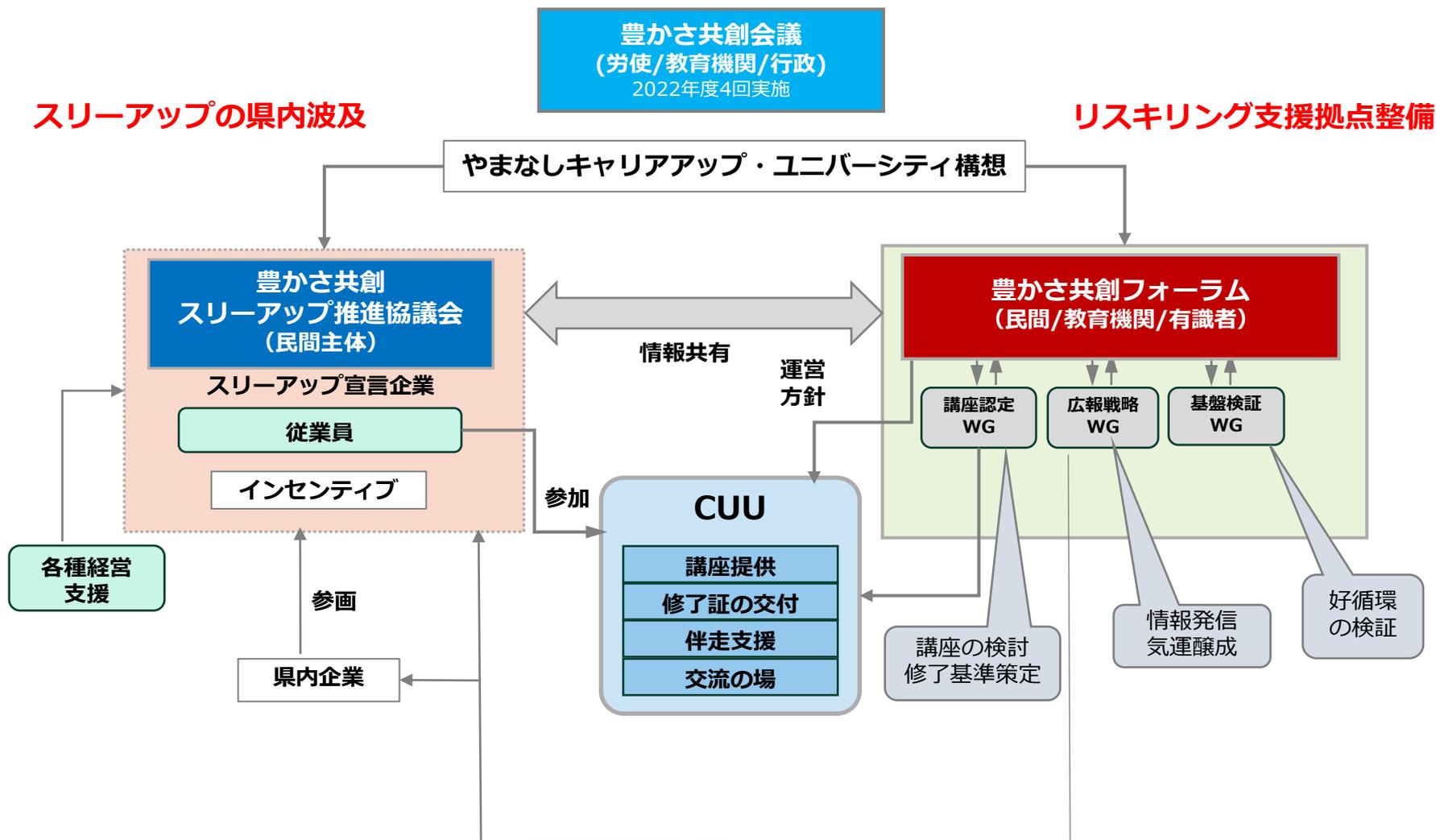
「リスキリング・スキルアップへの理解を促し、受講者を増やしていくための方策について」

【目次】

- ・ スリーアップ推進協議会とフォーラム、CUUの関係性・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ・ CUU運営方針1.0全体像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ・ スリーアップ推進宣言企業の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ・ R5年度の実績について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- ・ R6年度の講座運営について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- ・ これまでの広報活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- ・ 運営に関するヒアリング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- ・ 運営に関する課題について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- ・ ご議論いただきたいこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

スリーアップ推進協議会とフォーラム、CUUの関係性

- 推進協議会とフォーラムはお互いの状況を適宜共有。
- フォーラムはCUUの運営方針を策定し、推進協議会はCUU参加企業増進に向けスリーアップ宣言企業の拡大を図る。



スリーアップ推進協議会とフォーラム、CUUの役割

- やまなしキャリアアップ・ユニバーシティは、豊かさ共創フォーラムが策定した運営方針のもと、スリーアップ推進宣言企業の従業員を対象にリスキリング講座を提供。

豊かさ共創フォーラム

2024年3月 やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ運営方針1.0策定

①経営者のマインド変容 ②経営資源の余裕を生み出すこと



やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ

フォーラムで策定した運営方針のもと、スリーアップ推進宣言企業の従業員を対象に学びを提供

育成する人材：DX推進人材、ものづくり現場変革人材、ホスピタリティ・共感力人材、
新産業プロデュース人材、イノベーター人材、経営戦略人材



豊かさ共創スリーアップ推進宣言企業

・労使の共益関係の構築

経営方針の共有：企業の将来像について経営者と従業員が共通の理解を持つ場を設けている。

意見等の尊重：従業員の意見や要望をくみ取る機会を設けている。

・好循環への行動

スキルアップへの取り組み：やまなしキャリアアップ・ユニバーシティが提供する講座など生産性向上に資するリスキリングの機会に参加する意向がある。

収益アップへの取り組み：働き手のスキルアップによる生産性向上や業務改善、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。又は取り組む意向がある。

賃金アップへの取り組み：適切な評価を行い、賃金アップなど就労環境の改善に取り組んでいる。又は取り組む意向がある。

CUU運営方針1. 0全体像

目指す姿は、働く人のスキルアップを通じて、企業の収益アップを図り、賃金アップにつながる好循環（＝3UP循環）の実現。

令和6年1月にスタートした「やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ（CUU）」では、企業の持続的な成長をけん引する人材育成を強力にサポート。

将来的には、CUUを土台に3UP循環が県内企業の当たり前になることを目指すが、初期段階では、CUUが起点となり、3UP循環のひと転がし目をプッシュし、この先の大きなムーブメントの原動力となる「成功モデルの創出」に注力。

そのためには、①「経営者のマインド変容」が成功への鍵を握る。

経営者自身がリスキリング・スキルアップの重要性を理解し、ビジネスの成果に直結するイメージ・共感を獲得。自分ゴト化のきっかけをつくり、その後の行動変容につなげていく。

②「経営資源の余裕を生み出すこと」を優先。

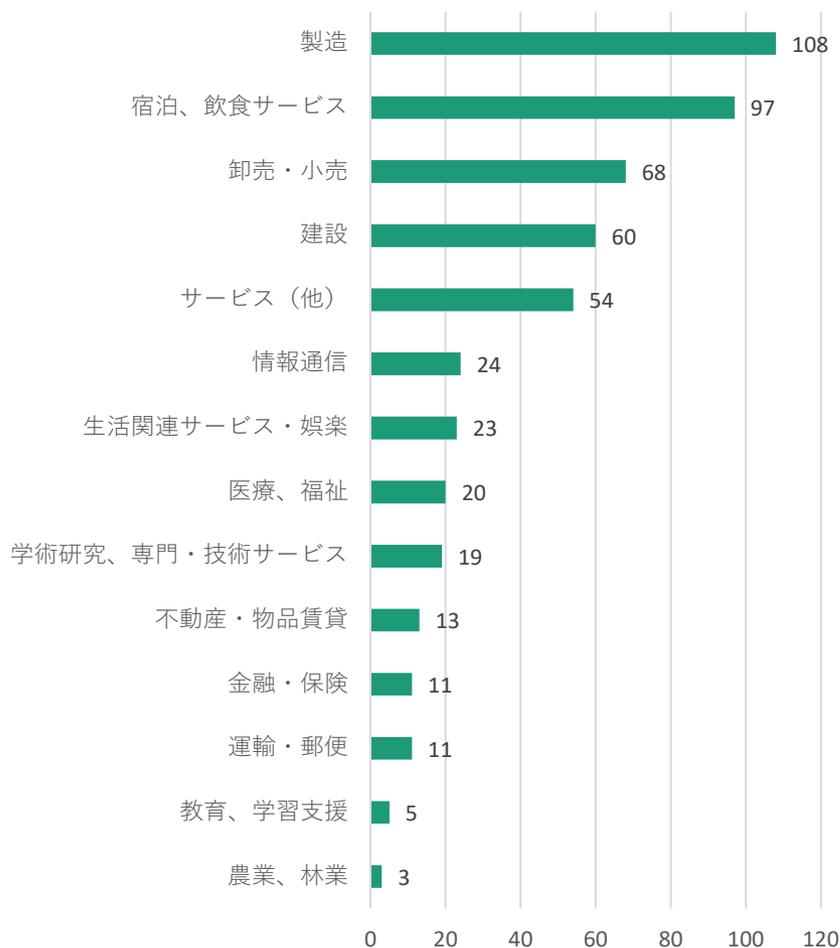
県内企業の直近の経営課題は「人手不足の解消」。まずは、このような喫緊の課題解決にコミットするカリキュラムに力点を置き、スキルUP→効率化→収益改善によって将来の成長に振り向ける余裕を生み出していく。

このような狙いを据えた具体的なサービスを構築・提供するとともに、戦略的な広報によって、CUUを活用する利点を訴求していく。

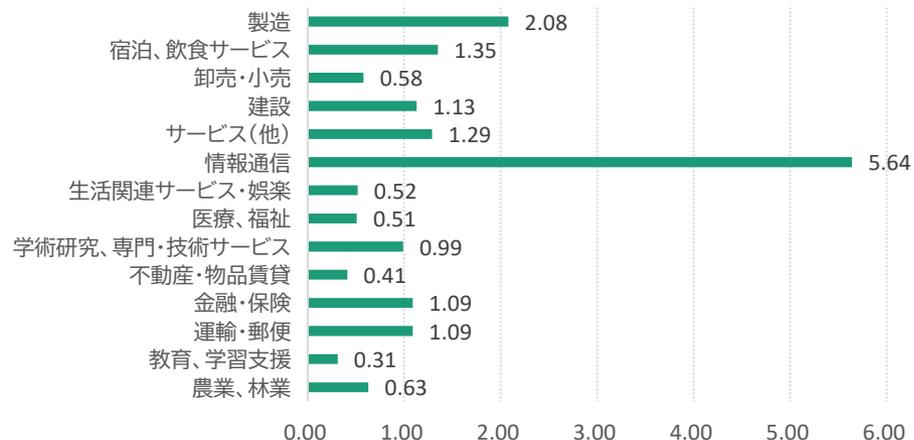
スリーアップ推進宣言企業の状況

- スリーアップ推進宣言企業は516社（6月21日現在）。
- 製造業や宿泊、飲食サービス業が多いが、産業構造を加味すると情報通信業の割合が高い。
- 中北地域の企業が6割。

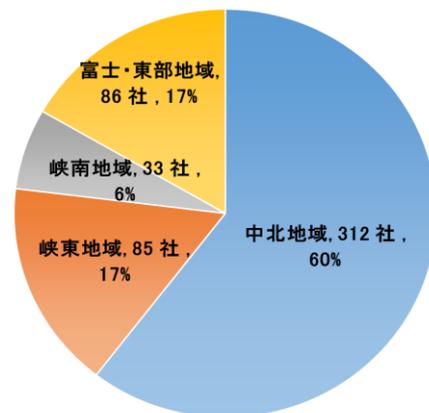
業種別宣言企業数



県内産業構造から見た企業の宣言状況



地域別宣言企業数



R5年度の実績について

- 構想にある6つの人材タイプを念頭に3講座を開講。
- 受講の満足度や実践状況は高い。

No.	講座名	日程	回数	受講料（税込み）	定員	受講者数
①	経営マネジメント講座	1/17-3/8	全5回	¥5,500	20名	21名
②	DX実践講座	1/25-3/7	全5回	¥5,500	20名	20名
③	ホスピタリティ・共感力講座	1/23-3/5	全5回	¥5,500	20名	23名
合計：64名						

チラシ
13名
企業訪問
51名

経営マネジメント講座

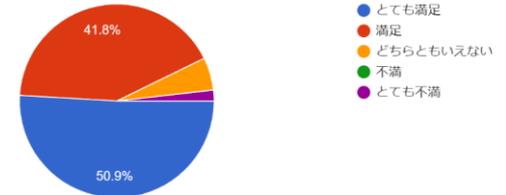
対象者 中小企業経営者または次期経営者 経営企画関連業務の従事者
受講料 1講座(全5回)5,500円(税込)/人 定員 20名程度

講師	講義	日程	時間	場所	講義内容
【講師】 株式会社 NTT DXイートナー 代表取締役 アソビビジネスマネジメント スクール 経営戦略講師 長谷部 豊	Day1	1/17(水)	18:00-20:30	山梨県立 中小企業 人材開発 センター	●経営戦略の全体像、価値創造の考え方、経営デザインのプロセス 基本的な考え方・理論やフレームワークの理解
	Day2	1/29(月)	18:00-20:30		●経営デザイン策定の実践、経営デザインシートを作成 山梨総合研究所・弁理士 特別講義
Day3	2/14(水)	18:00-20:30	●山梨県内企業の実例を題材にしたケースメソッドによる学習 企業の成功要因分析、意思決定のポイントなどの実践的学習		
Day4	2/27(火)	18:00-20:30	●中小企業経営者の実践経験に関する講話 現地訪問による学びの体験、経営者とのディスカッション		
Day5	3/8(金)	18:00-20:30	●経営デザインシート、経営戦略・実行計画の発表と共有		
【特別講師】 公益財団法人 山梨県合同研究所 今井 久					

経営層：10
管理層：6
実務層：5

講座全体を通しての総合的な満足度をご回答願います。

55件の回答



DX実践講座

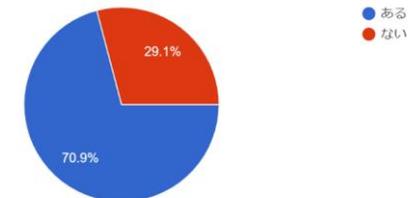
対象者 中小企業の経営者、管理職、従業員 すべての働く人々
受講料 1講座(全5回)5,500円(税込)/人 定員 20名程度

講師	講義	日程	時間	場所	講義内容
【講師】 株式会社 NTT DXイートナー 加藤 総	Day1	1/25(木)	18:00-20:30	山梨県立 中小企業 人材開発 センター	●DX成功企業から学ぶDX (企業の成功要因、自社との比較についてディスカッション)
	Day2	2/1(木)	18:00-20:30		●DX基本理論と、DX推進に必要な思考法を学ぶ (自社のケースに合わせてデザイン思考実践をワークショップ形式で体験)
Day3	2/16(金)	18:00-20:30	●DX推進に必要な思考法を学ぶ (自社の顧客旅程・カスタマージャーニー作成をワークショップ形式で体験)		
Day4	2/29(木)	18:00-20:30	●自社課題の解決手法を学ぶ (自社の業務「ライン」に対するAs-IsとTo-Beについて体験)		
Day5	3/7(木)	18:00-20:30	●DX推進計画の作成・発表		
【特別講師】 株式会社 システムズ・アンド・カンパニー 代表取締役 望月 直樹					

経営層：0
管理層：11
実務層：9

今までの受講を通じて具体的に職場で実践したことはありますか。

55件の回答



ホスピタリティ・共感力講座

対象者 コミュニケーションで悩む現場リーダー、責任者、経営者
受講料 1講座(全5回)5,500円(税込)/人 定員 20名程度

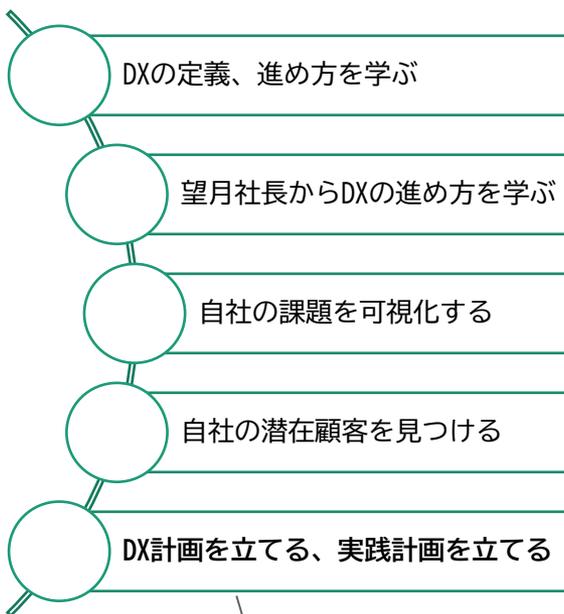
講師	講義	日程	時間	場所	講義内容
【講師】 中小企業診断士 経営ジャーナリスト 瀬戸川 礼子	Day1	1/23(火)	13:00-15:00	山梨県立 中小企業 人材開発 センター	●コミュニケーションを理論から学ぶ/円滑な意思疎通がビジネス 好循環を生む ※社内の情報透明性を高める事例紹介
	Day2	2/7(水)	13:00-15:00		●自分と自社(他者)のコミュニケーション課題/共感力を学ぶ ※カードを使った共感力向上トレーニング
	Day3	2/14(水)	13:00-15:00		●付加価値とは何か/生産性とは何か ※高付加価値と生産性向上の事例紹介
	Day4	2/28(火)	13:00-15:00		●ホスピタリティと付加価値の関係性/企業事例から学ぶ関係性 ※理論と実践の両面から考える
	Day5	3/5(火)	13:00-15:00		●ホスピタリティ・共感力を生かした自分と自社の課題改善

経営層：1
管理層：14
実務層：8

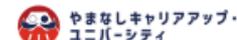
実践の例（DX実践講座）

- 請求事務のデジタル化の計画を講師とブラッシュアップしながら作成。
- 業務の見える化、役割の明確化を進め、受講後は社内でシステム開発予算を計上。

DX実践講座



次回（Day5）までの課題



所属	株式会社アシストエンジニアリング
氏名	秋山 恭平

- これまでの学びを最大限生かして、DX実践計画を立てましょう。

実施したいこと：請求書の発行と受理のシステム化（ルール化）
→生産者と消費者をつなぐオンラインプラットフォーム。生産者から直接仕入れた新鮮な農産物や加工食品を提供し、消費者に安心・安全な食品を届ける。

顧客（ペルソナ）はだれか

- 名前：社内スタッフ
- 性別：男女
- 年齢：20代～60代
- 抱えている問題や課題：売上を追いながら、社内整備を同時進行出来ず、後者への取組みが遅れている。国の制度が先に来て、後から追いつけている。
- 欲求やニーズ：ルール化することにより業務担当（誰がどの役割を実施すべきか）を明確にする。システム化され重複業務を無くす、間違いを無くす。

実現したいこと、課題は何か

- 自社が直面している課題：請求書の発と受理に関してルールやシステムがなく、関わる人間も多いため、業務が複雑化しているのと間違いを起こす可能性がある。
- 改善したい業務プロセスやオペレーション：ルールの構築とシステム導入と担当者の明確化で、上記を無くす。

実践計画：

- 具体的な実施事項：
 - 施策実行担当者決定
 - ルール決定
 - システム検討or自作
 - 運用トライアル
 - 実運用
- 駆使するデジタル技術：システム開発技術、ITリテラシー向上勉強会
- 実施時期：開発期間約3か月、準備期間を含めると約6か月
- 関係者：実行担当者、開発チーム（エンジニア、デザイナー）、経理担当

※次回（Day5）で、全員の前で発表してもらいます。

Copyright © 2023 やまなしキャリアアップユニバーシティ事務局 / 実践講座

- Day3の段階から学習内容の社内展開を開始。
- PDCAサイクルを回しながら、講師と課題の解決方法をとともに検討。
- 受講後、社内でシステム開発に関する予算を計上。
- こうした進捗状況をグループワークで共有し、他の受講生の学びの意欲を高めた。

●講座内容

- 運営方針に基づき、経営マネジメント講座、DX実践講座を強化
- 製造業のデジタル化を進めるため、産業技術短期大学校と連携し、既存の設備をIoT化する「ものづくり実践講座」を開講
- 観光業を対象とした「観光実践講座」を開講

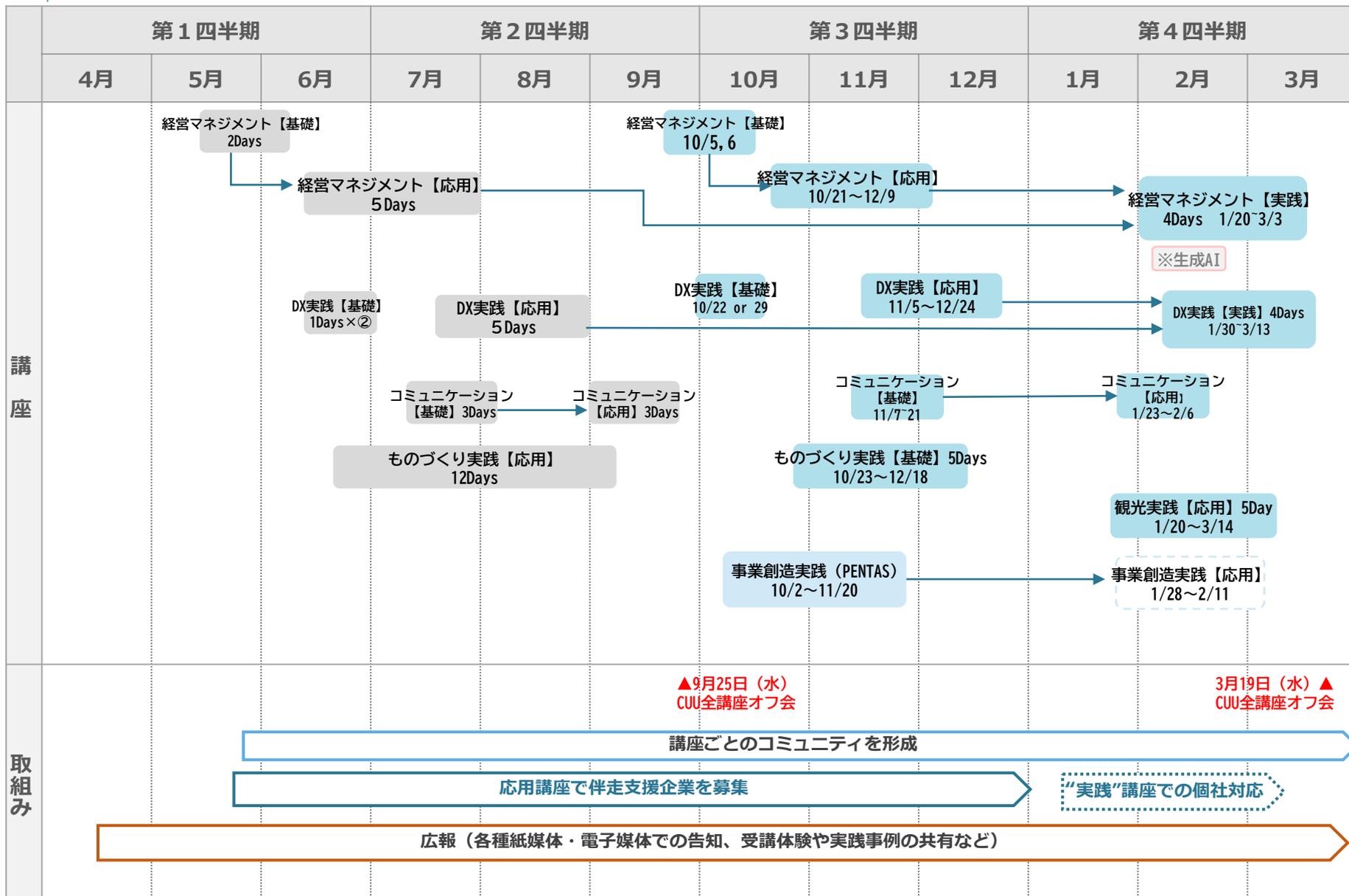
●コミュニティ形成

- 受講者を対象に年2回オフ会を開催
- コミュニティ形成を図るととともに、実践意欲を維持向上

●伴走支援

- キャリアコンサルタントによるキャリア面談を継続
- 経営マネジメント講座とDX講座は、応用講座で作成した計画について講師と個別に相談できる「実践コース」を新設
- 経営課題解決の支援強化を求める声に応え、受講により明確になった経営課題をよろず支援拠点のコーディネーターが支援する体制を構築

R6年度のスケジュール（下期案含む）



▲9月25日（水）
CUU全講座オフ会

3月19日（水）▲
CUU全講座オフ会

R6年度の運営状況について

- 昨年度受講した企業からの継続した申し込みや、受講生からの口コミによる申し込み、受講した経営者が従業員を受講させるなどの動きも見られる。
- 定員充足率は7割。

No	講座名	日程	回数	受講料 (税込み)	定員	受講者数
①	経営マネジメント講座【基礎】	5/24, 25	全2回	¥22,000	20名	16名
②	経営マネジメント講座【応用】	6/6-7/22	全5回	¥22,000	20名	14名
③	DX実践講座【基礎】	6/25又は7/2	全1回	¥5,500	各日20名	6/25 : 13名 7/2 : 8名
④	DX実践講座【応用】	7/9-9/3	全5回	¥22,000	20名	18名
⑤	ものづくり講座【応用】	6/18-9/10	全12回	¥22,000※	10名	11名
⑥	コミュニケーション講座【基礎】	7/18-8/1	全3回	¥16,500	20名	11名
						合計 : 91名

※講座で使用する教材費用（3万円程度）が別途必要

チラシ・メルマガ : 24名
企業訪問 : 67名

- C U Uの認知度向上・受講生獲得に向けて、ショートドラマやインタビュー動画の作成、受講体験記のポータルサイトへの掲載などを実施。
- 成功事例の本格的なP Rはこれから。

	講座の告知	受講状況の広報	C U U紹介
紙媒体	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞全面広告 (講座案内) 	<ul style="list-style-type: none"> ・県広報誌「ふれあい」 R 6. 4月号掲載 ・新聞全面広告 (受講体験記) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞全面広告 (C U U動画紹介) ・フォーカス山梨掲載 (C U U概要)
C U Uチラシ (A 4三つ折り)			
電波媒体	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビCM (C U U開講告知) ・ラジオ番組 		<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ番組
WEB媒体	<ul style="list-style-type: none"> ・週次メルマガ配信 	<ul style="list-style-type: none"> ・受講体験記インタビュー動画公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・C U Uを紹介する ショートドラマ作成、 動画公開 ・配信サービス会社掲載 (C U U動画紹介)
C U Uポータルサイト			



- スリーアップ推進協議会と連携した人的資本経営に関するセミナーの開催
 - ・開講記念セミナー (1月)
 - ・マネジメントセミナー (3月)

運営に関するヒアリング

- ・実施期間：R6. 6月
- ・対象企業：37社（受講企業・未受講企業双方に実施）
- ・ヒアリング手法：経営層に対し対面によりヒアリング

- **受講企業** ※多くの企業が受講内容を各社の実情に応じ実践している。

- ・講師陣が豪華であり、他のスキルアップ講座等よりもポイントが絞られており良い。
- ・対象を細分化した講座の方が良い。
- ・会社ごとにカスタマイズされた実践的な伴走支援がほしい。
- ・受講生同士のコミュニティ形成や交流会に期待。

- **未受講企業**

- ・業務時間中に時間を割いて参加してもらうのはハードルが高い。
- ・リスキングの必要性は感じているが、経費の面と社員の選定が難しい。
- ・業務効率化は重要かつ必要不可欠と思うが、リスキングとの関連性、影響度がわからない。
- ・収益・賃金アップに取り組んでおり、講座内容を把握しておらず講座を受けるメリットが見つからない。
- ・受講するとどうスキルアップし、どういった業務改善につながるのか具体的な例などで示してほしい。
- ・最大公約数ではなく、業種・職種に特化した講座が欲しい。
- ・特定の1社に焦点を当てながら徹底的に伴走支援していくことで成果を出したという成功事例を一つでも多く作ることが大切。
- ・セミナーや講座がたくさんある中で、差別化をわかりやすく発信してほしい。
- ・はじめの一步を踏み出せる支援、サポートを希望。
- ・伴走支援は当社の業界や業種に詳しい専門家についてもらい、業務効率化につながるアドバイスをもらいたい。伴走という言葉のとおり長く一緒に悩んでもらいたい。

運営に関する課題について

(目標)

スリーアップ好循環の実現に向けて、経営者の方にスキルアップ・リスクリングの重要性への理解を促し、CUU受講者を増やす

(課題)

- 1 経営者の行動変容を促す効果的な広報の実施
- 2 CUUがニーズに応える講座や支援を提供

(現状)

- 収益アップには業務効率化・高付加価値化に向けた知識の習得・アップデートが必要。
- 若者の自己成長意欲に応えるためにも「学び」の重要性は高い。
- 一方、宣言企業においては「関心のあるテーマに続けて申し込む」「多くの従業員を参加させる」という積極的な企業と、そこまで意識が至っていない企業（「リスクリングとの関連性、影響度がわからない」）に二極化。
- 「人がいなくて従業員を出せない」「転職してしまう」との声もある。

ご議論いただきたいこと

- 多くの経営者にスキルアップ・リスキリングへの理解を促し、CUUを受講していただくために次の3点に取り組みたい。
 - ・ 課題1については、
 - (1) 人への投資の重要性にフォーカスした経営者向けセミナーの開催
 - (2) スリーアップ推進宣言の上位認証制度の策定
 - (3) 広報の強化
 - ・ 課題2については、今後スリーアップ宣言企業へのアンケートを実施し改善するとともに、よろず支援拠点と連携した経営支援、講師と個別相談可能な【実践コース】の効果を検証予定。
- 上記、(1)～(3)の取り組みにあたり、内容や手法、その他アイデア含め幅広くご意見をいただきたい。

(1) 経営者向けセミナーの開催

- ・ スリーアップ推進協議会と連携して、リスキリングの重要性、人への投資の重要性にフォーカスしたセミナーを開催。
- ・ セミナーは、人手不足の時代になぜリスキリングが必要か、社員のエンゲージメントを高めるには、といった内容を予定。

日時：令和6年9月12日(木) 15:00～18:00

講師：株式会社イマジナ 代表取締役社長

一般社団法人 山梨イノベーションベース 代表理事 関野 吉記 氏

- ・ 併せてCUUのPRのため、講座の特徴(実践を重視)、キャリアコンサル支援、経営課題への伴走支援、受講者コミュニティについても説明。

(2) スリーアップ推進宣言の上位認証制度の策定

- スリーアップ好循環に向けて「実践している企業」の評価制度を創設。
- 評価項目は、宣言項目の実践状況の評価するものとしたい。
→実践を評価することにより、CUU受講にもつなげたい。
- 結果だけでなく、プロセスも含め評価する制度としたい。
- 認証を取得した企業には、ロゴマークの使用許諾や県のホームページなどで周知。
- 地域雇用施策と連携した広報の実施により、取得意欲を喚起したい。



◆認証（第2ステップ）

- ・スリーアップに積極的に取り組んでいる企業を評価
- ・更なる高付加価値化につながるロゴマークの使用許諾
- ・雇用施策と連携した広報の実施



◆宣言（第1ステップ）

- ・豊かさ共創の理念に賛同する企業による「スリーアップ推進宣言」

(3) 広報の強化

- 講座内容の周知のための「オープンキャンパス」「オープン講座」の実施
 - ・オープンキャンパス: CUUの特徴の説明とともに、デモ講座(30分から1時間程度)を開催。
 - ・オープン講座: 基礎編の講座を開放し、多くの方に「リスキリング」に触れる機会を提供。
- 知名度アップ・メリット提示のための広報活動
 - ・成功事例や受講体験記を新聞紙面(経済面等)に掲載。(8月中旬から)
 - ・通勤時間帯を狙ったラジオ番組での講座の紹介。(8月後半から)
 - ・SNSやWEB広告の活用。
- PRする受講のメリット
 - ・知識の習得だけでなく、キャリアコンサルタントや経営課題への伴走支援。
 - ・講師と個別相談可能な【実践コース】の新設。